

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

平成24年度事業報告

自 平成24年4月27日
至 平成25年3月31日

岩手の経済人（岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、岩手経済同友会、岩手県経営者協会）が先導して産学官民協力体制を築き、県内における国際リニアコライダー（ILC）受入意識の醸成や環境整備等を図るため、4月27日に当協議会を設立された。

以来、岩手県、関係自治体、東北ILC推進協議会と連携し、ILCへの理解促進や啓発活動、受け入れのための調査研究、広報活動に鋭意取り組んだ。

特にも、復興と再生の原動力となり、若者に夢を与える国家プロジェクトとして国や関係省庁等に積極的に要望活動を展開するとともに、若年層の理解を深める活動も実施し、岩手県民のILC受入れに向けた機運は高まった。

項目別事業実績は以下の通りである。

1. 設立

(1) 設立に係る発起人団体の打ち合わせ

日 時：平成24年4月17日（火）16：00～
場 所：盛岡商工会議所 役員室／出席者 7名

(2) 設立総会

日 時：平成24年4月27日（月）15：00～
場 所：盛岡商工会議所3階会議室／出席者 122名



2. 諸会議

(1) 役員会

日 時：平成24年6月11日（月）
日 時：平成24年7月18日（水）
日 時：平成24年12月14日（金）

(2) 幹事会

日 時：平成24年10月22日（月）
日 時：平成24年11月29日（木）
日 時：平成25年2月6日（水）

3. 事業

(1) 講演会の開催

①設立総会後の講演会

日時：平成24年4月27日（金）11:00～

会場：盛岡商工会議所3階会議室／参加者：約120名

テーマ：「ILC東北誘致に向けて～大震災からの真の復興を目指して～」

講師：大平 尚 氏（岩手県政策地域部政策推進室首席ILC推進監）

②学生向け講演会

日時：平成24年6月7日（木）14:00～

会場：盛岡第一高等学校体育館

テーマ：宇宙の謎を解き明かす最先端科学

～宇宙の遺伝子・素粒子でさぐる大宇宙の進化～

講師：山下 了 氏

（東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授）



③学生向け講演会

日時：平成24年6月8日（金）10:00～

会場：盛岡第一高等学校体育館

テーマ：宇宙の謎を解き明かす最先端科学

～宇宙の遺伝子・素粒子でさぐる大宇宙の進化～

講師：山下 了 氏（東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授）

④公開講演会「いわての将来を拓く～国際リニアコライダー講演会～」

日時：平成24年7月18日（水）14:00～

会場：岩手県民会館 中ホール／参加者 約400名

テーマ：「ILCを核とした東北の将来ビジョンについて」

講師：大平 尚 氏（岩手県政策地域部政策推進室首席ILC推進監）

テーマ：「2つの巨大加速器LHCとILCが切り拓く新時代」

講師：吉岡 正和 氏（高エネルギー加速器研究機構 名誉教授）

県民決議：講演会終了後、国際リニアコライダーの東北誘致に関する決議を谷村副会長が朗読し、満場一致で採択された。

国際リニアコライダー（ILC）の東北誘致に関する決議

東日本大震災津波は、岩手県において死者・行方不明者が5,800人を超す大災害となった。本県をはじめ東北は現在、全国、そして世界各国から多くの支援を受けながら、復興に向け、一丸となって懸命に取り組んでいる。

しかし、震災を乗り越え、東北が真の復興を成し遂げるには、ただ単に元に戻すだけでなく、より豊かな地域経済社会を作り上げるために効果の大きいプロジェクトが必要である。

本県の北上山地は、世界でただ1か所建設が予定されている超大型最先端加速器、「国際リニアコライダー（ILC）」の候補地となっている。

ILCは、素粒子物理の世界的な研究拠点を形成し、最先端科学の研究成果や加速器技術のイノベーションを生み出す場となり、建設から運用の段階までの経済効果は4.3兆円、誘発雇用者数は25万人と推計されるなど、広く東北全域にわたる産業振興、雇用創出、人材育成、地域振興などに大きく寄与するものである。

特に、被災地では多くの住民が故郷を後にせざるを得ない状況に直面し、雇用の場の確保が大きな課題となっているが、ILC建設候補地は沿岸被災地からも近く、長期にわたる雇用の受け皿を提供することが可能となる。

更に、ILC周辺には世界中から優秀な科学者や研究者が集う1万人に及ぶ国際的な研究圏域が形成されることから、定住・交流人口の増加による効果とともに、国際観光の振興などと相まって、東北の復興と国際化が一段と促進されることになる。

このようにILCは、素粒子物理を中心とする先端科学分野に関わる人材・技術・産業の世界センターになるとともに、次世代を担う新たな産業の創出効果や経済波及効果も東北地域のみならず国内外に及び、まさに大震災津波からの復興と再生の原動力になり、かつ、東北の人々に夢と希望を与える象徴的プロジェクトである。

よって本協議会は、東北の真の復興のため、ILCの東北誘致に向け全力で取り組むとともに、政府に対し、国家プロジェクトとしてILCの東北誘致を推進するよう強く求めるものである。

平成24年7月18日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

⑤学生向け講演会

日時：平成24年10月4日（木）15：10～

会場：一関工業高等専門学校

テーマ：宇宙の謎を解き明かす最先端科学～宇宙の遺伝子・素粒子でさぐる大宇宙の進化～

講師：山下 了 氏（東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授）

（主催：一関市、一関工業高等専門学校教育研究振興会、岩手県国際リニアコライダー推進協議会）

⑥公開講演会「ヒッグス粒子とは？加速器が解き明かす宇宙の謎」

日 時：平成24年12月22日（土）13：30～

会 場：ホテル東日本／参加者：約300名

テーマ：「ヒッグス粒子の発見とILCへの期待」

講 師：浅井 祥仁 氏

（東京大学大学院理学系研究科准教授）

テーマ：「世界最強の加速器J-PARCを利用したニュートリノ実験」

講 師 多田 将 氏

（高エネルギー加速器研究機構 助教）



(2) 広報活動

①岩手県国際リニアコライダー推進協議会加入申込書付リーフレット作成

22,000枚（6月、10月、1月）作成し、構成団体に配布するとともに、主催、共催、後援する講演会時の資料として配布した。

②啓発・普及用DVDの制作（東北ILC推進協議会と共同制作（100枚）

めざせ！東北ビッグバン ～ILC国際リニアコライダー実現に向けて～

③DVD贈呈：平成25年3月8日（金）10：30～

内 容：八重樫岩手県教育委員会委員長に東北ILC推進協議会と共同で作成したDVD80枚を寄贈し、県立高校と特別支援学校高等部に配布を依頼し、ILCへの理解と普及をお願いした。

(3) 視察会

①建設候補地現場視察会（岩手経済同友会共催）

日 時：平成24年10月30日

②つくば：高エネルギー加速器研究機構視察（岩手経済同友会共催）

日 時：平成25年1月30日

③九州大学伊都キャンパス、脊振山地、沖縄科学技術大学院大学視察

日 時：平成25年2月22日（金）～24日（日）



(4) 調 査

「東北地方における国際リニアコライダー計画に伴う官民連携可能性調査」の実施

(5) 要望活動等

- ・山下 了 氏（東京大学素粒子物理国際研究センター准教授）を囲む情報交換会

日 時：平成24年6月7日（木）

- ・I L Cの東北誘致に関する要望

要望日：平成24年6月18日（月）

要望先：平野復興大臣、地元選出国會議員

- ・野田総理大臣被災地視察における商工業者との意見交換会

日 時：平成24年7月14日（土）

要望先：野田総理大臣、平野復興大臣

- ・吉岡 正和 氏（高エネルギー加速器研究機構名誉教授）を囲む情報交換会

日 時：平成24年7月18日（水）

- ・I L Cの東北誘致に関する要望

要望日：平成24年8月1日（水）

要望先：復興庁、文部科学省、財務省、内閣府、民主党、自民党

- ・平野復興大臣、増田日本創生会議座長との意見交換会

日 時：平成24年11月5日（月）

- ・多田 将 氏（高エネルギー加速器研究機構助教）を囲む情報交換会

日 時：平成24年12月22日（土）

- ・海江田民主党党首との意見交換会

日 時：平成25年2月11日（月）

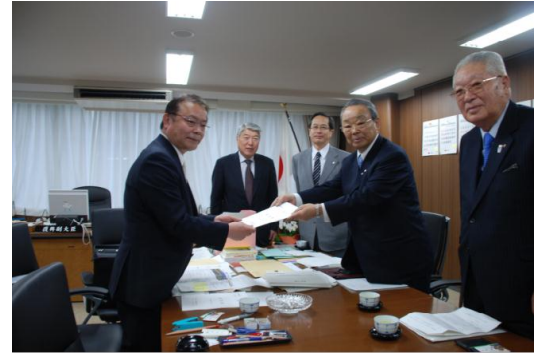
- ・自由民主党岩手県支部連合会幹部との意見交換会

日 時：平成25年2月17日（日）

- ・I L Cの東北誘致に関する要望（地元選出国会議員への要望）

要望日：平成25年2月22日（月）

要望先：鈴木・高橋・橋本・藤原衆議院議員会館事務所



- ・I L Cの東北誘致に関する要望

要望日：平成25年3月18日（月）

要望先：復興庁（谷復興副大臣）

- ・平野参議院議員、増田日本創生会議座長との意見交換会

日 時：平成25年3月18日（月）

- ・I L Cの東北誘致に関する要望

要望日：平成25年3月26日（水）

要望先：内閣府（山本沖縄北方・科学技術・領土問題担当大臣）

復興庁（根本復興大臣）、文部科学省（福井副大臣）

I L C国際研究所建設推進議員連盟（河村会長、鈴木副会長、塩谷幹事長）

公明党（井上幹事長）



4. 共催・後援等

- （1）「国際リニアコライダー（I L C）」計画 市民講演会（後援）

日 時：平成24年10月21日（日）13：30～（主催：東北I L C推進協議会）

会 場：東北大学マルチメディアホール

テーマ：「ヒッグス粒子とは？～わかり易く解説～」

講 師：村山 齊 氏（東京大学数物連携宇宙研究機構長）

テーマ：「ヒッグス粒子の謎を解き明かすI L Cの実力」

講 師：山本 均 氏（東北大学大学院理学研究科教授）

- （2）2013新春講演会～国際リニアコライダー（I L C）講演会～（後援）

日 時：平成25年1月18日（金）14：00～（主催：岩手県技術士会）

会 場：プラザおでって

講 師：吉岡 正和 氏（高エネルギー加速器研究機構名誉教授）

大平 尚 氏（岩手県首席 I L C 推進監）

(3) 奥州市国際交流協会主催「国際リニアコライダー研修会」（共催）

日 時：平成25年1月19日（土）13:30～

会 場：奥州宇宙遊学館

講 師：I L C 国際協働設計チーム・アジア地域ディレクター

横谷 馨 氏（高エネルギー加速器研究機構名誉教授）

(4) 花巻空港到着ロビー電飾広告看板設置（1月）

(5) 「国際リニアコライダー（I L C）シンポジウム I N おうしゅう」（共催）

（主催：奥州市、奥州市国際リニアコライダー推進連絡協議会）

日 時：平成25年3月9日（土）13:30～

会 場：江刺体育文化会館 ささらホール

テーマ：「I L C ができたら？」

講 師：I L C 国際協働設計チーム・アジア地域ディレクター

横谷 馨 氏（高エネルギー加速器研究機構名誉教授）

(6) 岩手県（岩手県県南広域振興局）との連名によるのぼり旗・ポスターの作成

のぼり旗 120枚、ポスター 300枚を3月に作成し、県南局管内の公共施設、商店街に配布した。

5. 関係団体

(1) 東北 I L C 推進協議会

下記日時に行われた総会により東北加速器基礎科学研究会から移行

日 時：平成24年7月10日（火）13:30～

(2) 国際学術都市調査研究分科会

東北 I L C 推進協議会が岩手県国際リニアコライダー推進協議会から委託を受け、国際リニアコライダー（I L C）が立地した場合に必要な国際科学技術研究都市に求められる条件を整理すると

ともに、研究者及び家族等が居住する地域整備のコンセプトや整備手法、概算整備費用等について調査する分科会。

(東北大学、岩手大学、岩手県、宮城県、関係自治体、東北経済連合会、岩手県 I L C 推進協議会等で構成、座長：玉山理事)

第1回 平成24年12月25日(火)

第2回 平成25年1月29日(水)

第3回 平成25年2月19日(火)

(3) I L C 立地評価会議への対応

I L C 立地評価会議が行う、研究環境・町づくり・経済的観点での「社会環境基盤評価」の評価項目が提示され、「国際学術都市調査研究分科会」のメンバーが中心となって対応した。

- ・社会基盤調査説明会並びに対応にかかる関係者打ち合わせ

第1回 平成25年3月23日(土)

- ・社会基盤調査対応にかかる関係者打合せ

第2回 平成25年3月28日(土)

6. その他

- ・国際リニアコライダー設計報告書完成発表会

日 時：平成24年12月15日(土) 14:00～

7. 組織状況(平成25年3月31日現在)

法人・団体会員：269／個人会員：51／合計：320